

體温計 蘭内藥局
寒暖計 電四〇番

全盛園
喫茶部開設

相帽と冬帽
モダンな若人向
スマートな紳士向
東帽製 フワリ 七圓八〇
イタリ製ベローア
七、八〇
ウール 一、五〇
ヨリ
平四 (電一四〇)
ツルヤ

東京行進曲
帝都流行の
ジャズソング
波浮の港の歌手
佐藤千夜子嬢が
心地良き
管絃同伴奏で
ピクチャーレコードに
蓄音器・貴金屬
會田時計店
平町四(電三三三)

愛馬散
内羅專門妙藥
小野屋藥店

秋植球根が到着しました。
とおぞ御覽下さい。
ヒヤシンス、フリージア、イキシヤ、チューリップ
ナースィス、一袋貳拾五錢
四丁目 (電話二一四番)
マツモトヤ **園藝種子部**

新築移轉
耳鼻咽喉科専門
氣管食道科
平町南町(舊診療所向)電話一七〇番
大和田醫院
警城セメント會社特約店

久全屋敷商店
警城牛町五丁目 電話九番 一三九番
▽良品廉賣は勝る商畧なし△
▽確實敏捷は釜屋の生命なり△

花柳科専門
木村外科醫院
入院自炊の便あり
平町五丁目橋際
電話三〇九番

公債、兩替
債券、質商
多田井ワカ商店
平町大工町

常新新聞
定部金貳圓 廣五號十二
一ヶ月五圓 告字詰一行
部稅五圓 料五十五錢 日刊
日曜大祭 福島縣石城郡平山長橋町三五
發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番
本社 同番地 (電話六三〇番)
印刷所 常盤毎日印刷所

刊夕日九月九
寄書
娛樂 三浦春水
(三)
道樂といふ言葉は我が國の普通の言葉、殊に江戸時代からの意味に於ては、一種特有なる響を附せられて居る如きであるが、その正面の意味はつまり純粹の趣味を以て何事に没頭する生活であり、道樂をこの意味に考へるときに、それが極めて嚴肅なる人生味をもつものと云へる。
而して現代の生活は、前

に云つた如く機械化されて居る生活の中に於て、自我性を失ひ易きのみならず、殆んど悉くが目的のための生活、必要のための生活、即ち手段的意義上に生きる事が極めて稀に、又難かしくなつて居るのである。勿論達人はその中に於て、絶対我が生活に徹底するといふやうな人もあるではあるが、併し多くは必要と職務とに追はれて居るのである、この時暇りに一鉢の朝顔作りをせよ、半日の釣り遊びにせよ、目的、必要、職務といふやうな一切の他に我を没し得ることは如何に愉快なることのみならず必要のこと、云はなければならぬ。勿論個々の天地であつて、それ自身、さくも深くもないものであらう。而もこゝに我が純我に於て生きる數時間を我は一瞬を樂しむことが出来るのである。

一册の代金
御希望通りな
五册の雑誌
自由の讀める
川崎文庫
電話六三〇番
(申込次第規則書進呈)

光線新設 物理學的診療法
主任 醫學博士 難波 波
衛生試驗所 技師 工藤 慶
衛生試驗所 技師 中西 林
救病氣相談所 小西 英夫
救病氣相談所 小西 英夫
入院自炊ノ便アリ 共濟會
看護婦見習募集 共濟會
平町(電話六四二番)

耳鼻咽喉科専門
部長 醫學士 井上俊次郎
部長 醫學士 渡部貞助
本院醫學士 岡 賀澤 忠治
本院醫學士 岡 賀澤 忠治
本院醫學士 岡 賀澤 忠治
本院醫學士 岡 賀澤 忠治

外科
院長 醫學博士 難波 波
內科部長 醫學博士 中西 林
整形外科 皮膚泌尿科專門 氏家 憲次
產婦人科 女子泌尿科 松 枝 茂
產婦人科部長 醫學博士 桂 重次
(毎日曜手術)醫學博士

内科
小兒科 (院長毎日診療)
院長 醫學博士 難波 波
內科部長 醫學博士 中西 林
皮膚泌尿科專門 氏家 憲次
產婦人科部長 醫學博士 桂 重次
產婦人科 女子泌尿科 松 枝 茂
產婦人科部長 醫學博士 桂 重次
(毎日曜手術)醫學博士

BISHINGAN
子宮美神丸
使用した其の日からスグキク婦人病自宅療治薬、美神丸を未だシラナイ御方があります。永らく子宮病にて百薬の効なく御困りの方、處女にてもコシケに悩む方は安全にて人に知らるゝ心配もなく治療の目的を達します。定價一週四分四十錢 十週四分參圓五十錢
平町古鍛冶町(縣社ノ下) 阿康藥店
一手販賣部 無代進呈の方法もあります (電話四四番)

平町會田眼科醫院

各町村を通じて

七分平均の削減

結局人件費に迄波及

石城郡各町村の本年度緊縮実行豫算の編成は各町村共に大いに進捗し既に平均の如きは総額七十萬圓中より八萬五千圓の削減を見るに至り植田町も一割小名濱町は大體七分草野村は七分三厘等の削減を

斷行した が前に全郡町村長會にて小學校教員の俸給減額並に人員整理問題が論議されたが結局今日これ等人員費には一切觸れず他の方面に於て削減緊縮を行ふ可しとの申合せがあつたが愈々削減に際して到底人件費に觸れざるを得ざる結果となり飯野村にては教員二名の整理を行ふ事に決し亦井村にても

全國書道展

十四日から

平町に開催

書道研究会石城支部並びに菅城會石城支部主催で来る十四日より三日間平町平陽女學校に全國書道作品展覽會を開催すると

兒童繭品評

錦村小學校で

石城郡錦村小學校兒童一蠟飼繭品評會は六日同村小學校内に開催したが出品百二十點の内受賞者四十名で郡養蠶同業組合からは賞品として硯箱二個を贈つた

鯉漁況調査

磐城丸報告

四日歸航した鯉漁況調査の水産試験場磐城丸の報告によれば三日は金華山東二分の一北百八十七マイル表面水温二十四度八の海區で鯉の魚群に會し大鯉十五尾を釣獲してゐるが魚群は餘りよくなかつた只釣漁中泥

山崎氏就任

縣下一の年少者

石城郡錦村消防組頭星磯吉氏辭任により後任者はかね

車税の廢止で

當局が頭痛鉢巻

財源が減る爲め

その對策をどうする?

濱口内閣では惡税廢止名目で各府縣に於ける諸車税廢止を徹底する事を各府縣に通知したと傳へられてゐるが此の諸車税廢止による平均の影響を 見ると諸車が多い關係もあり附加税は一萬一千餘圓に上つてゐるのでこの諸車税が廢止になれば半町としては一萬一千圓の歳入が減少する事にな

影響を

見ると諸車が多い關係もあり附加税は一萬一千餘圓に上つてゐるのでこの諸車税が廢止になれば半町としては一萬一千圓の歳入が減少する事にな

大變で

あると對策

を講じつゝあるが車の使用者にとつては非常な福音ともいはれ様が町當事者としては歳入が減るので他に歳入の増をめぐらさねばならなくなるので却て面倒であると須藤主任は語つてゐた

國稅滞納者は

いつも同一人

滞納處分と赤地に白く

染め抜きの旗で押掛く

奇抜な見せしめ

本籍が現れたが非常に險脚早かつたと目下魚群は原釜沖距岸六七十マイル及金華山東北百七十八マイル内外

平稅務署では國稅滞納者の状態を調査したところ滞納するものは毎年ほとんど同一人でも相当の資産を有する者が多数を占め滞納の有する者と見られる節がある

のでこれ等横着者の根絶策を研究した結果もつとも悪性の滞納者が現れた場合は直ちに動産を差押へ法定期間が経過したら赤地に白く染め抜いた國稅滞納處分の旗を押立て、滞納者宅に押しかける差押へ物件を處分して他の滞納者の見せしめにする奇抜な方法をとることになつた

植田驛の業績

昨年度より増收

植田驛における八月の業績成績は左の如く昨年度に比し乗降客の増加した原因は海水浴並に鮫川舟遊客の増加した關係で貨物の収入減は石炭輸送減によるものである

乗客一萬四千五百六十一人(昨年から四百三十一人増)降客一萬四千三百六十二人(昨年から三百九十八人増)収入五千七百八十六圓(昨年より三百四十三圓増)貨物發送二千六百八十五噸(昨年より百三十噸減)到着四百一噸(昨年より七十九噸増)

勿來青年會館

本月中に竣工

勿來町青年會館は青年團が



家庭欄

トマトに

小蝦の詰め物 (上)

材料(五人前中)粒のトマト五つ、芝蝦三十尾、ピーナズ大匙二杯、牛乳五勺、メ

リケン粉五勺、バター中匙一杯、仰しチーズ大匙一杯、鹽、胡椒、味の素少量

拵へ方 トマトはへたの方を一分位切りさつて、種子を指先で出し鹽少しをふりかけて、伏せておきます、芝蝦は洗ひ上げて水氣を切り鍋に湯を煮立たせた中に鹽少しを加へて、その中に

蝦を入れ、七八分開茹で策に上げ、冷して皮をむいておきます、次ぎに小鍋でバターを煮溶かしメリケン粉を加へて、二三分開いたため、牛乳を徐々に注ぎ入れませ合せて煮立ちましたら、鹽、胡椒にて味をつけて、ホットソースを作ります

小學校長更迭

縣では今回石城郡下の小學校長を左の如く更迭した

- 大野小學校長八幡 壯藏
- 任内郷第一小學校長 赤井第一小學校長 鈴木佐四郎
- 任大野小學校長 湯本小學校訓導安藤 力
- 任赤井第一小學校長

郵便貯金の

受拂共に増加

半郵便局に於ける八月の貯金状態を見るに預金口數四千二百八十三口金額二十一萬四千五百四十四圓拂戻し口數千八百八十九口金額十五萬八千九百三十二圓で前年同日に比すれば預金四

卓球試合

昨日常磐で

既報仙台軍對平軍の卓球試合は昨日午前九時より常磐銀行半支店樓下に於て伏見町長の始球式に依り開始戦跡は左の通り

- | | |
|--------|--------|
| 仙台軍 | 平軍 |
| ● 稻村 0 | ● 三浦 3 |
| ● 星 3 | ● 菅谷 0 |
| ● 菅野 1 | ● 松田 3 |
| ● 翁 0 | ● 大坪 3 |
| ● 林家 1 | ● 志賀 3 |
| ● 菅原 1 | ● 山田 3 |
| | ● 山森 3 |

祭典の寫眞

三井吳服店に

子銚倉神社祭禮當日の御輿渡御、青年團の供奉、藝妓手鼓舞等の景況寫眞は三丁目三井吳服店に於て是れを擴大し本日から飾り窓に陳列通行人の眼をひいて居

兔の耳

收入五千九百八十一圓

昨年より二百五十六圓減

厭世寫眞屋さん用

意周到な自殺

ユイヨークのウイ

リス通に二十五年

間寫眞屋を開いて居たハイマン・グロスマンといふ人は六十五歳になり人生が餘りに味氣ないものだと思つた時早速自殺を思ひ立ちその爲めに随分念の入つた準備を始めた、先づ警察に宛て自殺届けを出した、其中には

この手紙は今後の最終便で貴官の許に届くが其の時私は自殺して居ります、私の家はウイリス通三百三十一號で御出で下さつたら私がガスで窒息して居るのを發見されるでせう

と認めてあつたこの手紙と同時に今一通投函したこれは直ぐ御隣りの古馴染の葬儀屋さんに宛たもので後の始末を宜しく頼むと認めた上に葬儀費用として百四十ドルの小切手が封入してあつた手紙を出した後寫眞屋はドアを皆開け放して巡査が入りやすいやうにして置いた、そして彼は自殺したのだ